

日本橋分会第一営業部NEWS

2024年3月13日(水)職場懇話会 開催

今回は、金井販売担当長にご出席いただき、お買い場の働き方を含めた現状の課題や今後の取り組みについて、確認・意見交換をおこないました。兼任役員の池内香苗さん(執行委員)と矢崎真太郎さん(評議員)も参加し、ざっくばらんにおこないました。

金井
さん

現状の課題と今後の取り組み・目指していきたいこと



働き方 担当を超えた横の連携や声かけの強化は重要と捉えています、「ここの担当ではないのでわかりません」という声はなくなってきたと感じています。これはマネージャーがメンバーと方針や取り組みについて、しっかり話をしてきた成果だと思います。「要員の補充がなく大変」という声もありますが、まだまだできることはあります。業務改善で捻出した時間でお客さまとつながることが大切。その発想の転換ができると思いいます。

店頭に立つために 仕事の中身については、業務内容とそれにかかる時間を前もって計算することはもちろん、やらなくても良い業務を探すことも大事。これまでやっていたからではなく、その業務の目的について一度立ち止まって考えることが重要です。提出書類はシンプルが一番。コンパクトにして良いと伝えています。

コミュニケーション メンバーはもちろんパートナースタッフ(以下PS)も大事なパートナー。話しかけてくれることを待っています。コミュニケーションを図り、みんなが気持ちよくやりがいを持ってはたらく＝お客さまにとっても居心地の良い場所になります。来年はデパートメントストア120周年。全員で“さすが三越”と言われるサービスの提供を目指していきたいと思ひます。

主体性 いずれも自分で考え行動を起こしていくことが重要です。マネージャーを中心にメンバー間やPSとのコミュニケーションを図り、お客さまと向き合う中で、自走できる人材・組織を目指していきたいです。

<働き方の取り組み>

- ◆担当間を超えた横連携強化・推進
- ◆コミュニケーション強化
- ◆やらない仕事の精査(一度、立ち止まる)など
- ◆ミーティングは最小限



組合 お歳暮振り返りアンケート結果報告など

組合からは、中元・歳暮振り返りアンケート結果を踏まえた店経営との懇話会でのやり取りについて報告させていただきました。

感想

池内さん(執行委員)・矢崎さん(評議員)

池内:コミュニケーションを大事にされていることを改めて感じました!日本橋は人に恵まれているので、横の連携を拡充できるとさらに良いお買い場になると思ひました。
矢崎:お客さまとつながることやコミュニケーションの重要性、またお買い場に立つための業務改善について、常に考えて行動していきたいと思ひます。



LINE



三越伊勢丹支部
Viva engage

<イングちゃん>
IMGU公式
マスコットキャラクター

